

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2025年1月～3月期

第116回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 令和6年10月～12月比
 - (2)前年同期比 令和6年1月～3月比
 - (3)来期見通し 令和7年4月～6月見通し
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	117社
回答率	23.4%

(業種別)

製造業	35社
建設業	34社
卸売業	5社
小売業	19社
サービス業	24社
合計	117社

(2) 調査対象月

2025年1月～3月期

(3) 調査依頼期間

2024年12月24日(火) ～ 2025年1月17日(金)

(4) 調査内容

調査対象の第3四半期の前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（パート含む）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

(5) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(6) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

DIとは（景況判断指数）とは

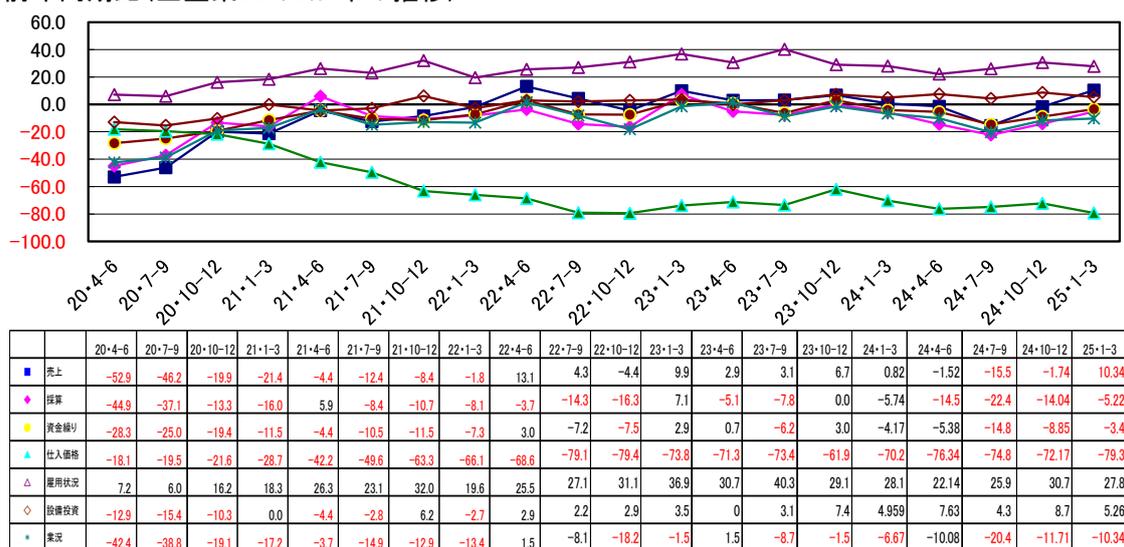
DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上DI	=	(増加回答の割合)	—	(減少回答の割合)
採算DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
資金繰りDI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
仕入価格DI	=	(下落 ")	—	(上昇 ")
雇用状況DI	=	(不足 ")	—	(過剰 ")
設備投資DI	=	(拡大 ")	—	(減少 ")
業況DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")

2. 調査結果 (DI)

前年同期比(全企業DIの5か年の推移)



3. 概況

(1) 今期の特徴

今期は雇用状況のDI値が好転を示した一方で、仕入価格上昇に対する課題感を感じている状況が見られた。売上が増加したものの、原材料費や仕入費用等の諸経費、物価高の影響があるため、業況に変化はないという回答が多くあった。また、野球のキャンプの影響で状況が好転したというコメントも見られた。

(2) 来期の見通し

来期の見通しは大型連休に向けての需要を見込む業種がある一方で、物価高や賃上げにより見通しが不透明だという企業があった。また、売値の見直しやコスト削減をして、業況を好転させたいという前向きなコメントも見られた。

(3) 経営上の問題点

1位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「人件費の増加」、4位「従業員の不足」、5位「熟練技術者(従業者)の不足」という結果になった。

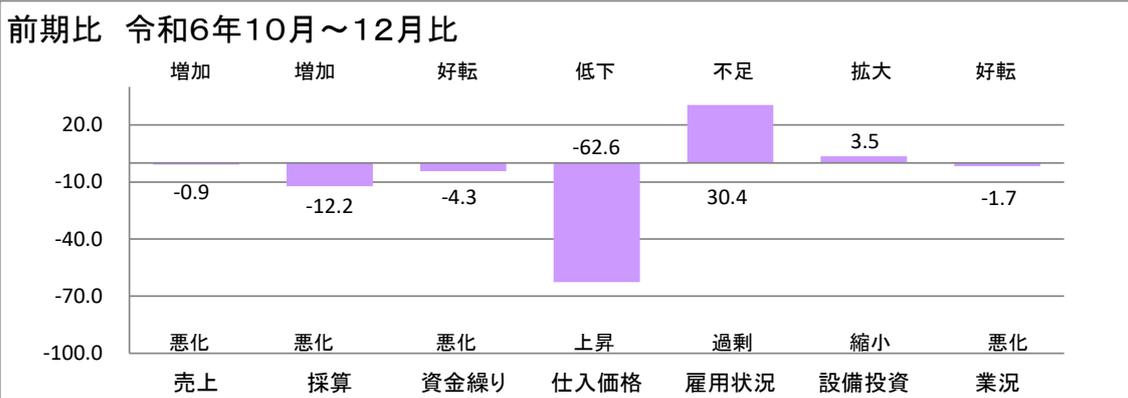
(4) 今後の対応策

1位「生産性を向上させたい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「新規市場を開拓したい」、4位「その他の合理性を実施したい」、5位「経営の多角化を行いたい」という結果になった。

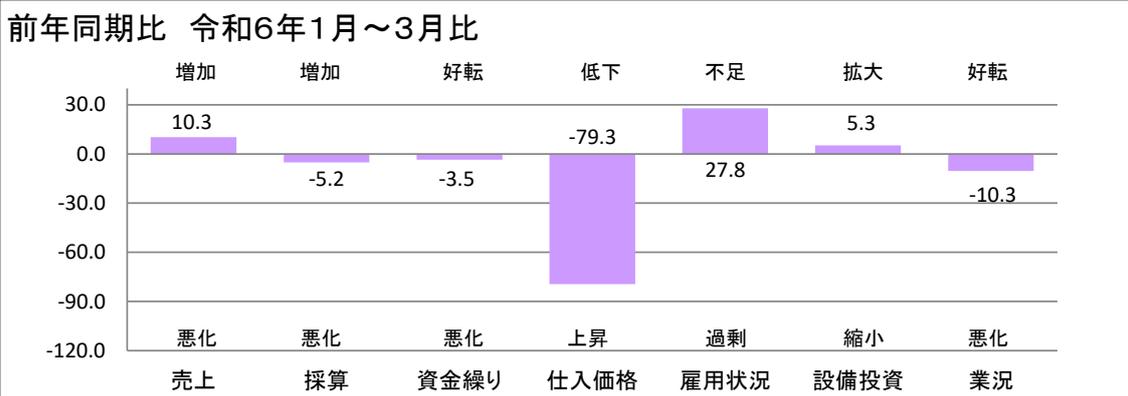
(5) 総括・分析

全業種を通じて仕入価格の上昇が経営に大きなマイナス影響を与えている。原材料費や人件費等の諸経費の増大によって、売上が増加しても採算を採るのが困難だという回答が多くあった。一部の業種では業況の悪化が顕著で、物価の高騰や円高の影響があると言及した企業も見られた。また、卸売業は、すべての項目の値がマイナスになっており、季節変動要因や燃料費の高騰の影響があるというコメントがあった。

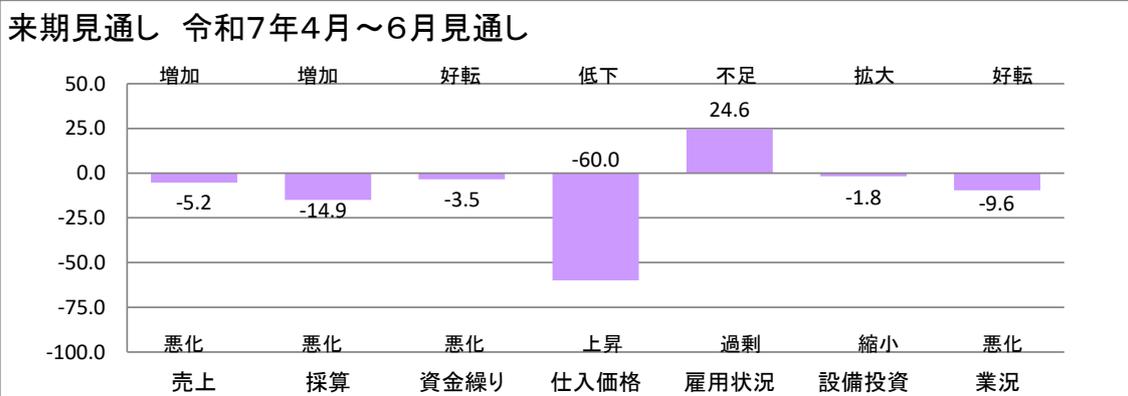
4. 県内の景気動向(全業種)



前期比は売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化となった。製造業、卸売業は採算が大幅に悪化したという回答であった。卸売業を除いた4業種では、雇用が不足しているという結果になった。仕入価格の上昇については全業種を通じて課題を感じているコメントが多く見られた。



前年同期比は売上DIは増加、採算DI、資金繰りDI、業況DIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大となった。特に小売業では仕入価格DIのポイントが全業種の中で一番上昇していた。仕入価格高騰についてのコメントが多く、売上が増加しても利益率が上がらないという回答があった。

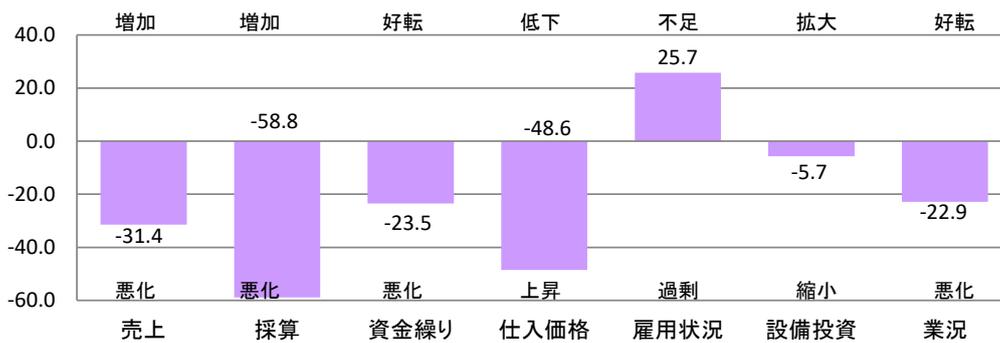


来期見通しは、売上DI、採算DI、資金繰りDI、業況DIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIはわずかに縮小となった。大型連休に伴った観光需要の高まりを期待する企業もある一方で、アメリカの関税問題の影響で景気予測ができず、先行きが不透明だというコメントも見られた。

5. 業種別の景気動向

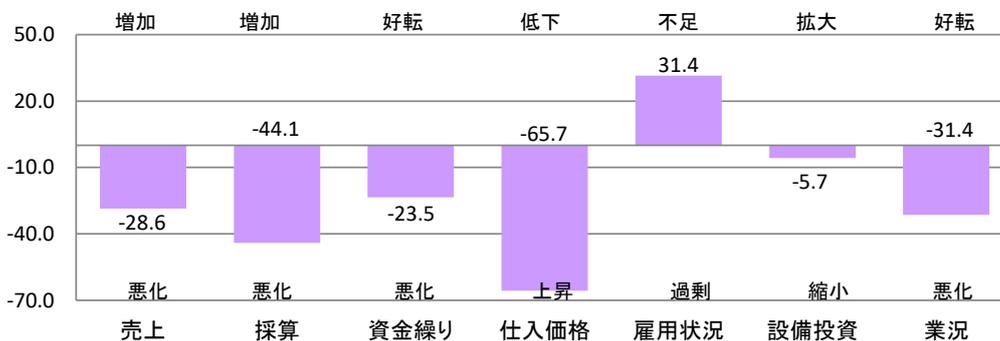
(1) 製造業

前期比 令和6年10月～12月比



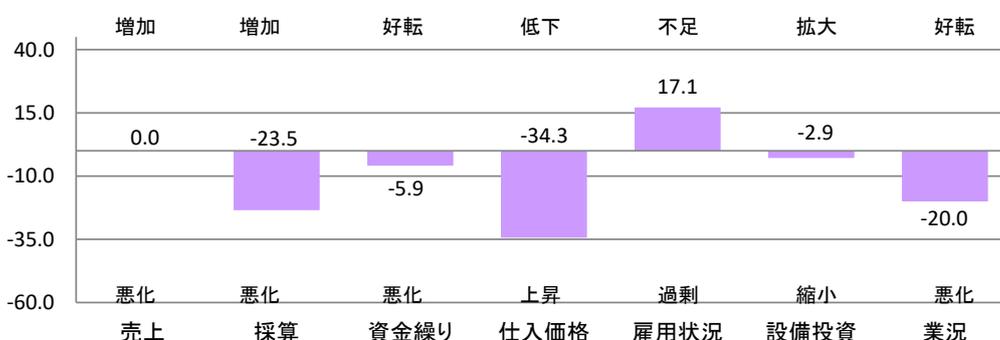
前期と比較すると売上DIは悪化、採算DIは大きく悪化、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは悪化となった。多くの企業が不変、または悪化したと回答した。生産性の向上や受注の増加が見られたと回答した企業もあったが、物価の高騰や円安の影響で需要が減速し、経常利益が減少しているというコメントがあった。

前年同期比 令和6年1月～3月比



前年同期比と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDI、業況DIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIはわずかに縮小となった。売上が増加したと回答した企業が多く見られたが、仕入価格や経費の上昇によって利益率が低下し、採算が悪化しているというコメントがあった。

来期見通し 令和7年4月～6月見通し

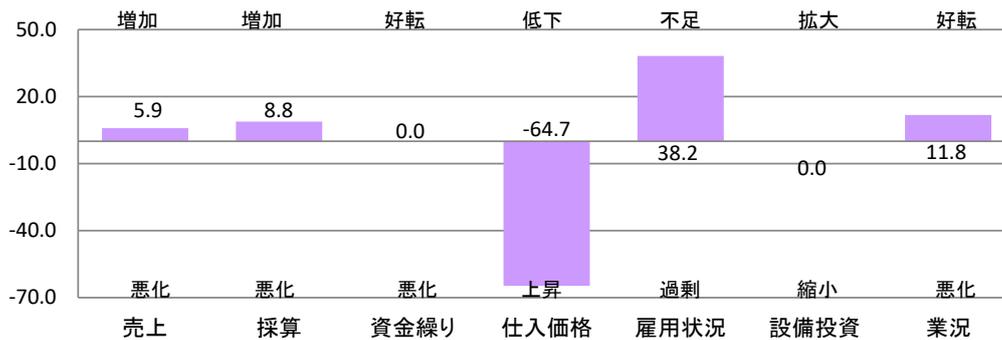


来期見通しは売上DIは0、採算DI、資金繰りDI、業況DIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小となった。アメリカ関税の影響で、海外への販売が停滞しているという回答があった。厳しい状況のなかでも、コスト削減に努めて業況を好転させたいと前向きなコメントも見られた。

5. 業種別の景気動向

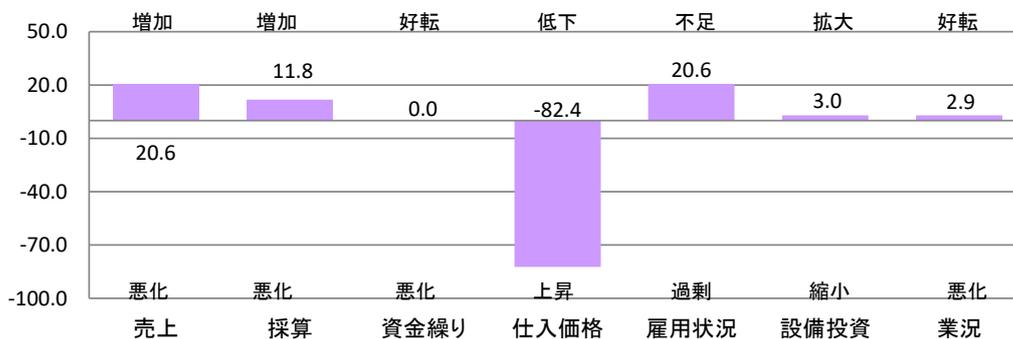
(2) 建設業

前期比 令和6年10月～12月比



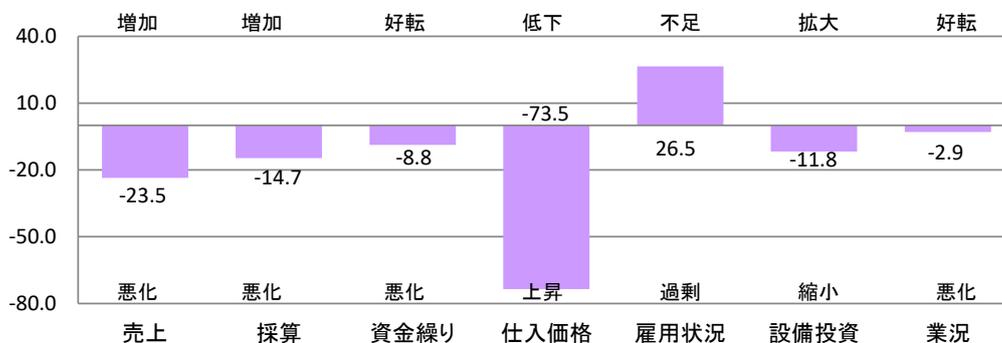
前期比は売上DI、採算DIは増加、資金繰りDIは0、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは好転となった。請負金額の高い物件が完成したことで売上が上がった企業が見られた一方で、受注件数が減少や工期の延長等によって売上が減少したと回答した企業が多かった。また、受注数は不変と回答した企業も、資金繰りは例年通り苦戦しているというコメントがあった。

前年同期比 令和6年1月～3月比



前年同期比は売上DI、採算DIは増加、資金繰りDIは0、業況DIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大となった。廃棄処分の費用や人件費の上昇について言及する企業が見られた。また、アルバイト生が卒業等でいなくなる時期であるため、人材不足が問題になるとコメントした企業があった。

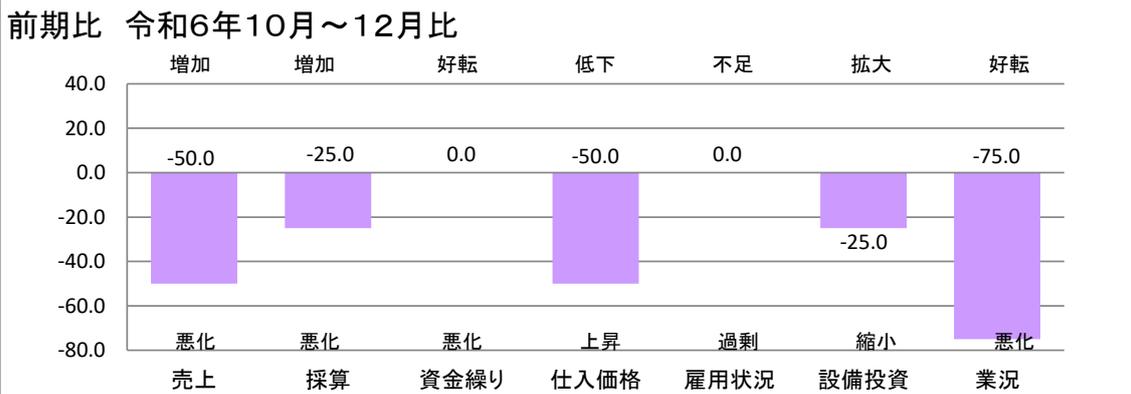
来期見通し 令和7年4月～6月見通し



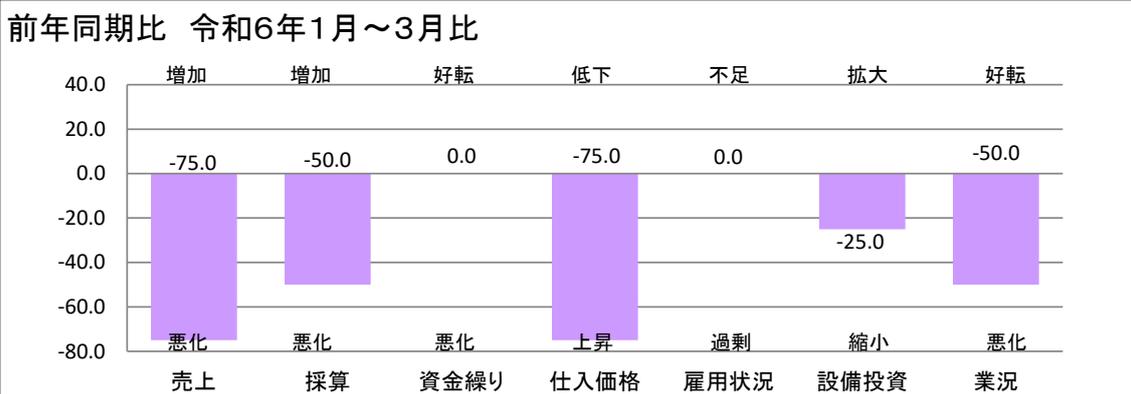
来期見通しは、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIはわずかに悪化となった。全体的に業況を不変と回答した企業が多かった。新年度は工事件数が少ないため、売上が減少して資金繰りが厳しくなると予想する企業があった。また、雇用状況を改善するために、新規採用や求人広告に注力しているというコメントが見られた。

5. 業種別の景気動向

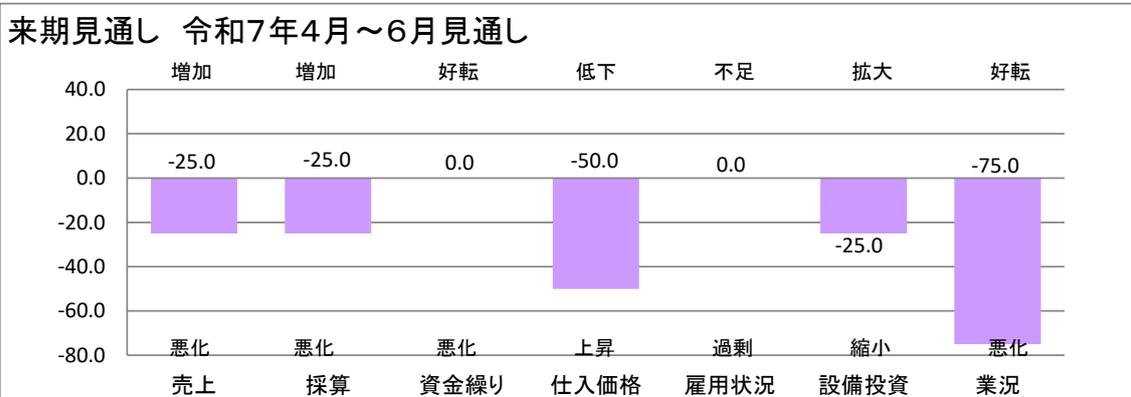
(3) 卸売業



前期比は売上DI、採算DIは悪化、業況DIは大きく悪化、資金繰りDIは0、設備投資DIは縮小、雇用状況DIは0となっている。仕入価格が上昇や、価格高騰による消費者の需要の減少が影響していると回答する企業が見られた。販売状況が悪化しており、新たな販売企画が思うように進んでいないというコメントもあった。



前年同期比は売上DI、採算DI、業況DIは悪化、資金繰りDI、設備投資DIは縮小、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは0となった。観光客の増加に伴って売上が増加しているという回答があった。また、燃料費の上昇の影響に言及する企業もあった。

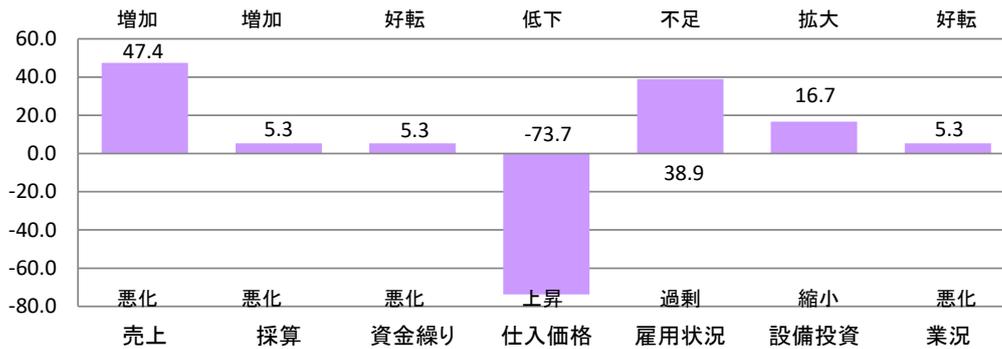


来期見通しは売上DI、採算DIは悪化、業況DIは大きく悪化、資金繰りDIは0、設備投資DIは縮小、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは0となった。市場の値上がり傾向が止まらないため見通しが不透明であり、現在の状況が続く場合、業況はさらに悪化していくと予想するコメントが見られた。

5. 業種別の景気動向

(4) 小売業

前期比 令和6年10月～12月比



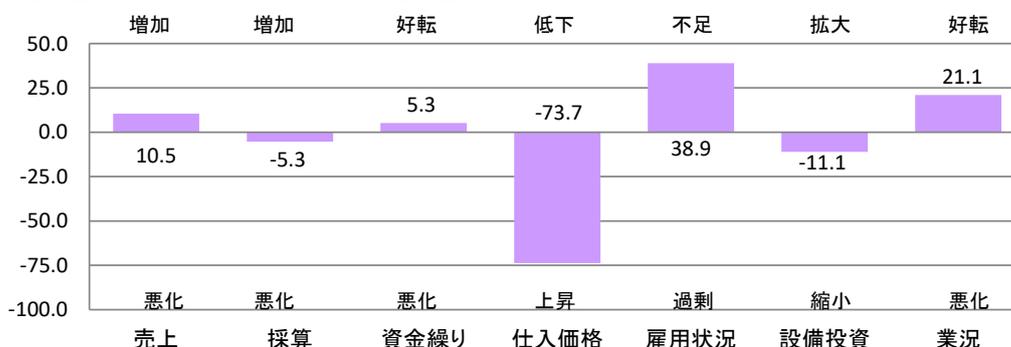
前期比は売上DIは増加、採算DIと業況DIはわずかに増加、資金繰りDIはわずかに好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大となった。イベント開催や仕入価格拡大による売上増加に言及する企業が見られた一方で、仕入価格の上昇が止まらないため採算が好転しないと回答する企業もあった。

前年同期比 令和6年1月～3月比



前年同期比は売上DI、採算DIは増加、業況DIはわずかに好転、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大となった。仕入価格DIは全業種の中で上昇ポイントが一番大きくなった。新型コロナウイルスの影響が落ち着き、売上は増加したが、仕入価格の高騰や設備の経年劣化による買い替え等の影響があったというコメントも見られた。

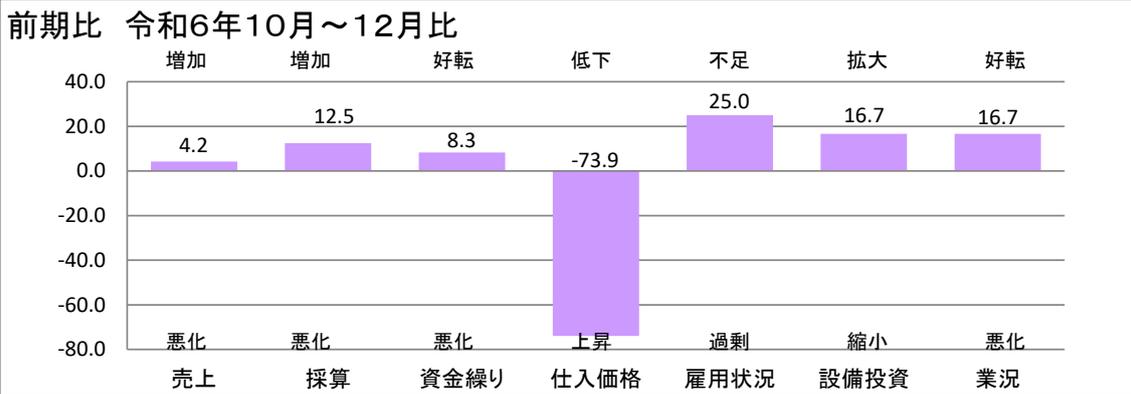
来期見通し 令和7年4月～6月見通し



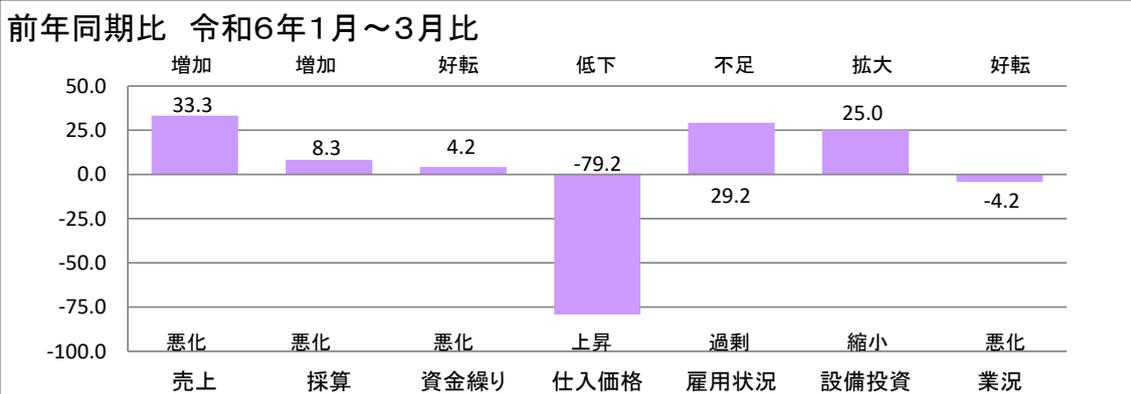
来期見通しは、売上DIは増加、採算DIは悪化、資金繰りDI、業況DIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小となった。大型連休による売上増加を期待する一方で、諸経費の上昇や賃上げの影響で、業況の好転は見込めないと予想するコメントが見られた。また、アメリカの関税問題に対する不安感に言及している企業があった。

5. 業種別の景気動向

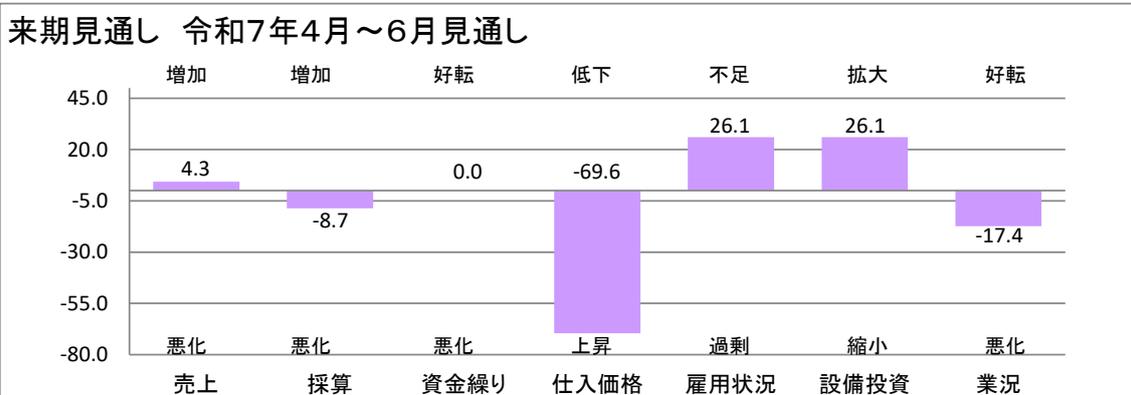
(5) サービス業



前期比は売上DI、採算DIは増加、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは好転となった。業界によっては、外的要因もなく売上が増加したという企業もあった。売上は増加したものの、原材料費や仕入価格等が高騰しているため、業況に変化はないというコメントが多くあった。

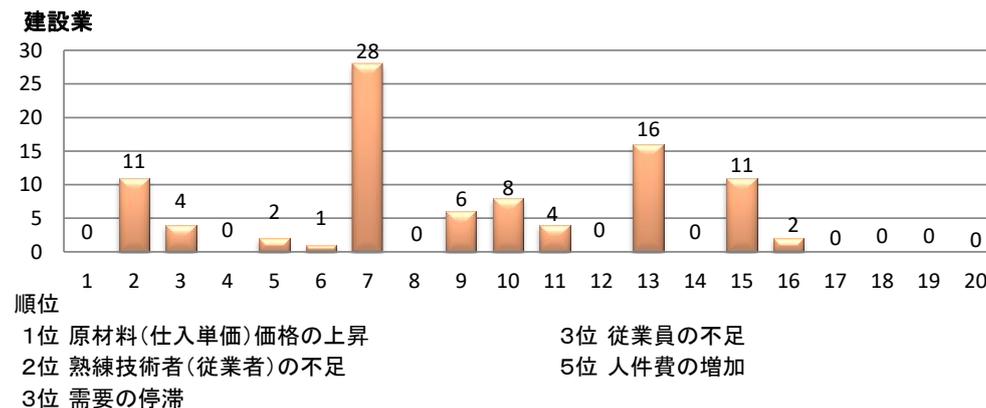
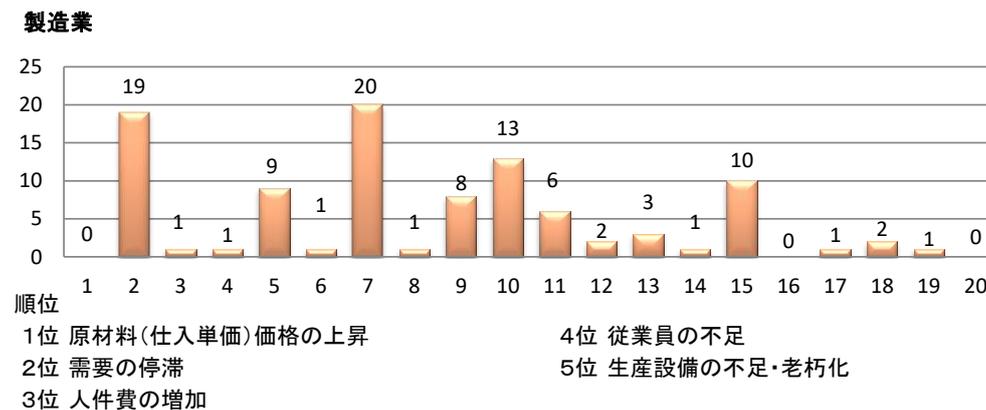
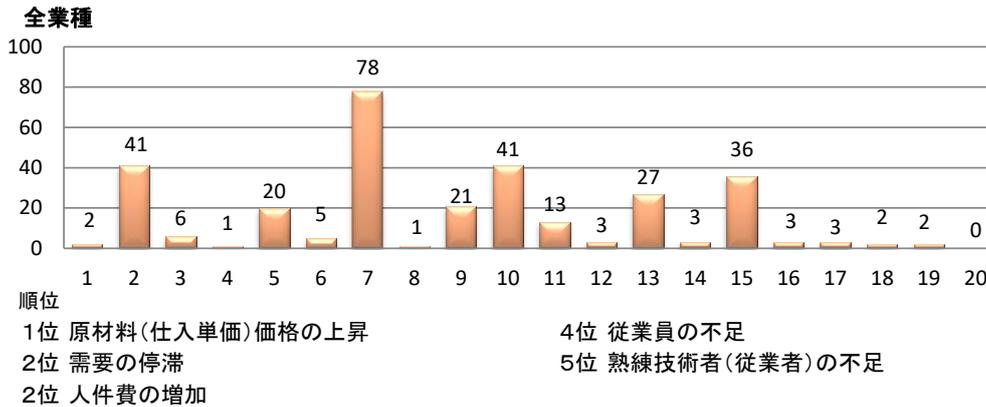


前年同期比は売上DI、採算DI、資金繰りDIは増加、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIはわずかに悪化となった。売上は増加しているが、人件費や諸経費の上昇により採算が悪化しているというコメントが見られた。



来期見通しは売上DIは増加、採算DIは悪化、資金繰りDIは0、業況DIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大となった。不変もしくは悪化と回答した企業が多く、売上の増加は期待できるが、経費の値上げによって相殺されるというコメントもあった。

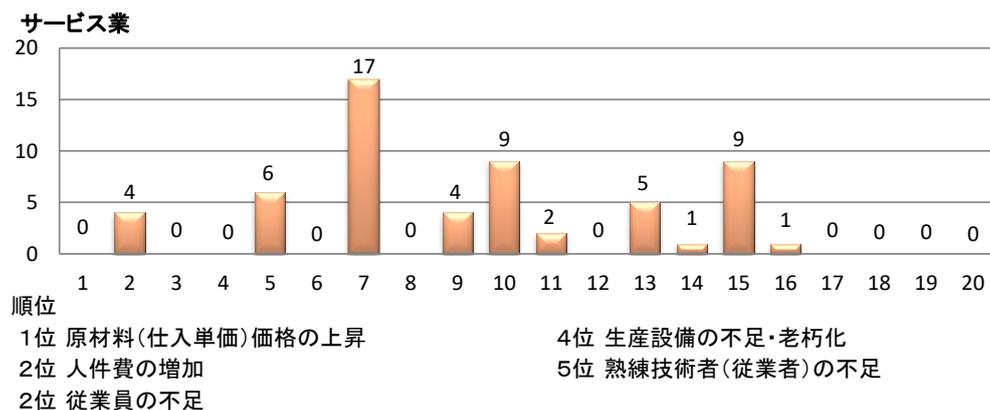
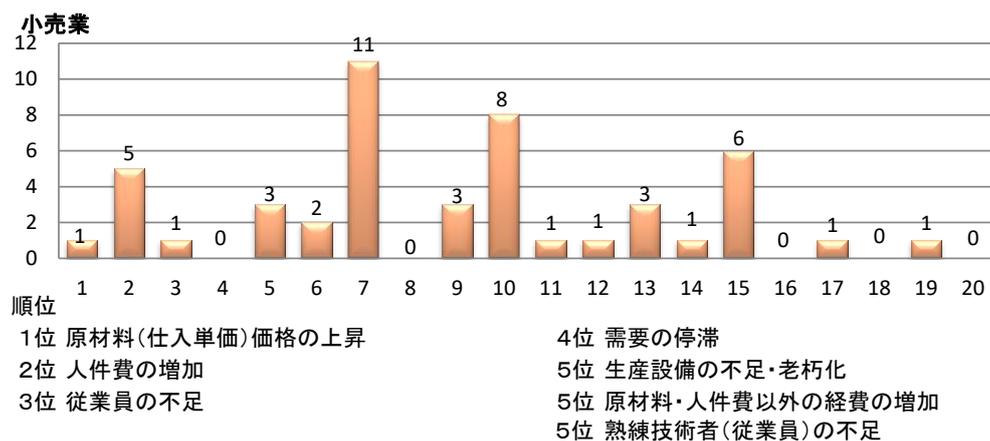
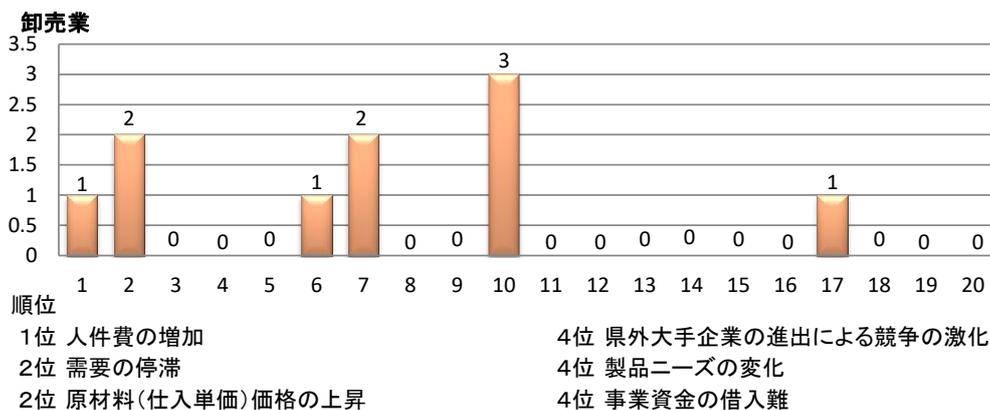
6. 経営上の問題点



【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

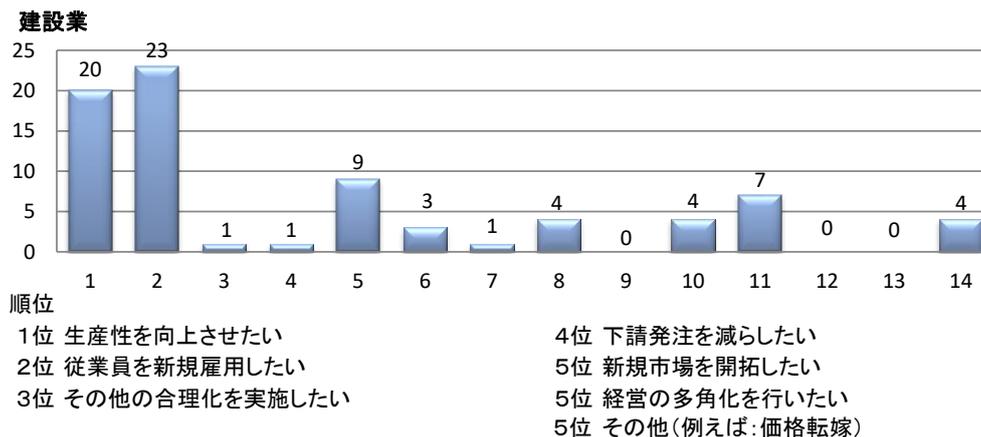
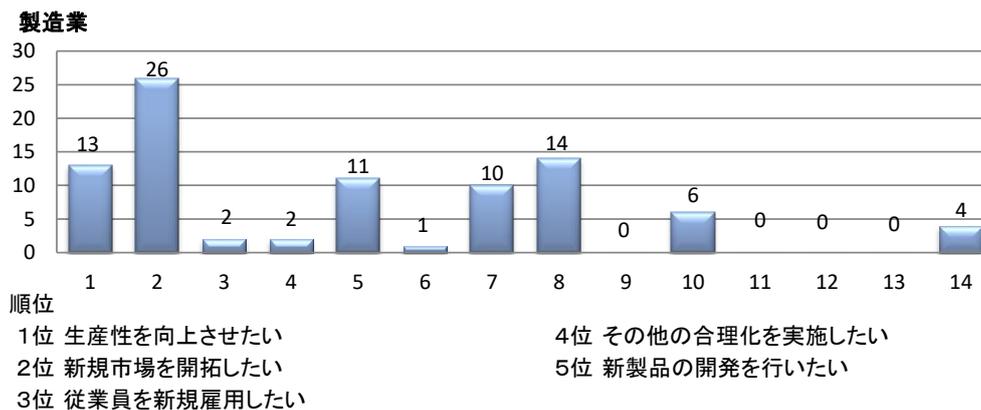
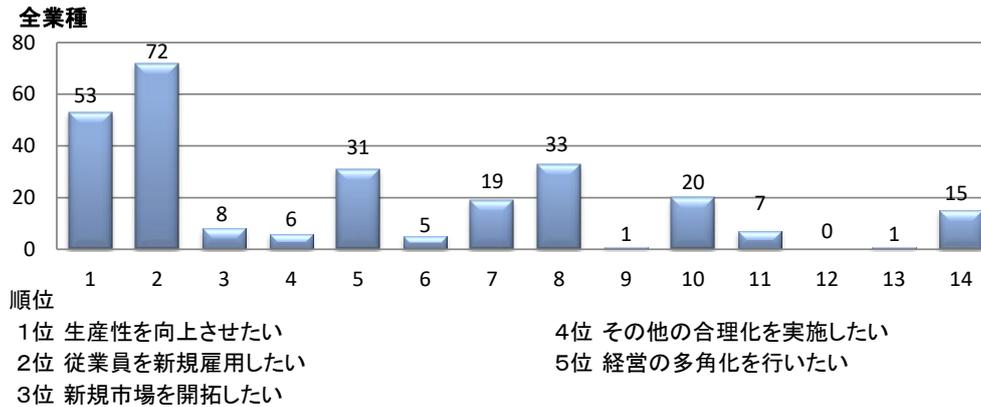
6. 経営上の問題点



【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

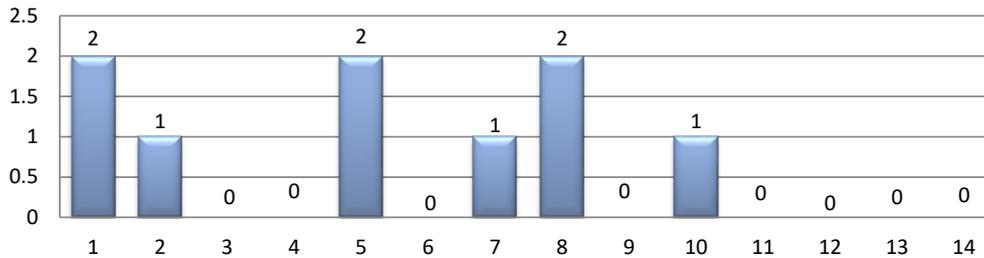


【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | |
| 14.その他 | |

7. 今後の対応策

卸売業



順位

1位 従業員を新規雇用したい

4位 生産性を向上させたい

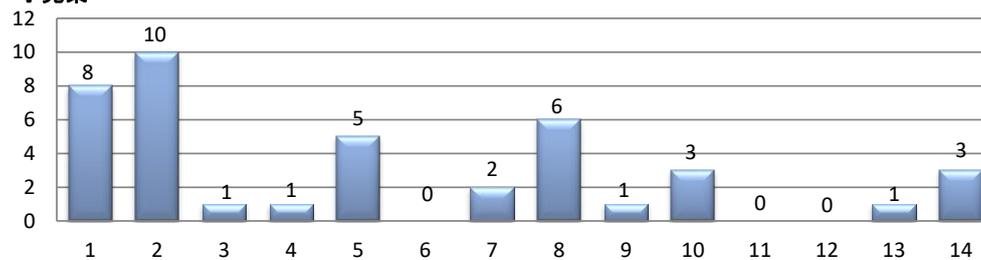
1位 その他の合理化を実施したい

4位 新製品の開発を行いたい

1位 新規市場を開拓したい

4位 経営の多角化を行いたい

小売業



順位

1位 生産性を向上させたい

4位 その他の合理化を実施したい

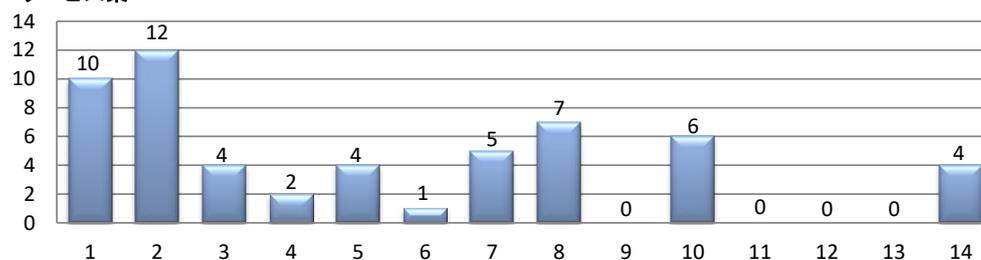
2位 従業員を新規雇用したい

5位 経営の多角化を行いたい

3位 新規市場を開拓したい

5位 その他(例えば:価格転嫁)

サービス業



順位

1位 生産性を向上させたい

4位 経営の多角化を行いたい

2位 従業員を新規雇用したい

5位 新製品の開発を行いたい

3位 新規市場を開拓したい

【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | |
| 14.その他 | |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	地域	国県への要望
建設業	電気工事、電気通信工事	宮崎	人手不足の大きな要因に元々少なくなっている若年層がさらに県外流出することがある。政府も安倍政権以来「地域創生」をうたう割には成果が上がっていない。首都圏に人口が流出しない。また一度県外に流出した人材が戻ってくるための政策を強く望む。
製造業	食品添加物製造業	宮崎	従業員の税負担を減らしてほしい
建設業	木製家具、建具工事、内装工事、木工工事、建築一式工事	宮崎	資材高騰の影響で新築物件が減少傾向と感じる。行政のサポートを強く求める
小売業	時計めがね販売修理	宮崎	腕時計に関してはスマートウォッチの普及により従来型の購入者が減少、家屋の壁の構造やアパート居住者が掛け時計をネジや釘で使用する人が減少し販売数も減少。当然、新築祝いに贈答用で購入される方が減っている。消費者ニーズが大きく変化しています。
サービス業	レンタカーリース	宮崎	海外系税(トランプ)等の不確実性や金融資本市場の変動、物価上昇が懸念点である。要望としては個人向けの減税施策と半導体インフラの解消である。
サービス業	ゴルフ場経営	宮崎	投資に対する補助金の増加

建設業	土木建設業	日南	東九州自動車道早期開通に伴う公共工事等の予算確保 油津港湾工事においても同じ
サービス業	飲食業	日南	いかなる状況でも自分達3人で意見交換し前に進んでいきたいと思っています。3人がそれぞれ考え方が違うのでそれが会社の財産だと確信してます。社会保険料を会社が半分負担する部分を会社と国で半分ずつにしてほしい。中小企業は厳しいです。インボイスを廃止してほしい。事務作業ばかり増えた。
小売業	工芸品販売	日南	近くに新しくカフェがオープンする等、少しずつ盛り上りを後押ししているがもっと地域ぐるみで景気回復を目指していけたらいいのでは？高速道路の開通により便利になったことを行政がもっとアナウンスしたりJR日南線が利用しやすくなるような本数、車両の工夫等があるとよい。
サービス業	廃棄物処理業	日南	減税してください。
小売業	家電販売	日南	物価の上昇は日本だけの問題ではなく対策できるようなものではないと考えているので、賃金上昇の支援や値上げの容認される社会風土の形成など物価上昇前提の対策をお願いしたい。
小売業	事務機、事務用品販売	小林	零細企業への税制の支援や自治体の発注を地元本社事業所に特化してもらいたい。

建設業	水道工事業	西都	人材(技術者)不足による受注機会の減少等が発生している為、配置技術者のさらなる緩和等を検討して頂きたい。全国的に数多くの職種で人材不足が発生している状況であり、特に人口の都市部集中の為、地方は顕著である。人口の分散対策を検討して頂きたい。
サービス業	美容業	西都	美容・サービス業への、助成金・補助金について利用しやすいものを検討してほしい。
建設業	造園業	西都	労働者確保についての施策
建設業	建設土木	西都	社員の高齢化
小売業	石油販売業	西都	行政は何に対しても大企業を元に、すべて判断しているのでは？最低賃金、働き方改革と悪循環になっていると思っていないのか？人員不足も特にどの会社に置いても、問題視されている。中小企業、小規模事業者と国の9割以上を占めているにもかかわらず、大企業の方針を中小企業がまねする事はとうてい出来ない。改めて考え方を変えなければ日本の将来、孫、子孫は苦しくなるのが見えている。何を？やるべきか！中小企業が動かなければ日本はつぶれます。今後食糧問題、貧富の差と厳しい現実近づいて来ていると思う！！深く考えてほしい。
サービス業	自動車整備業	西都	減税

小売業	調剤・医薬品販売	西都	人口減少、景気低迷で地方の零細企業は厳しい状況にある。それに加え材料・経費の上昇、働き方改革、質上げが加わり、さらに厳しくなっている。国の減税など対策を講じてほしい。
サービス業	クリーニング業	西都	地域でも店を閉める方が多くなって来ている。高齢化、後継者不足など対策に期待したい。
#N/A	#N/A	西都	・ガソリン暫定税率の廃止 ・電気料金の値下げ
#N/A	飲食業	日向	人の動きは多くなり売上は増加傾向であるが原材料や人件費への上昇が大きく、対処が大変になっている。政府の思い切った政策が必要と思う。(個人の飲食店はとてもやっていけないのではないか)
サービス業	衣料品販売業	都城	現金給付ではなく数年間だけでもいいので経済が上向くまで減税にしてほしい。
製造業	機械製造	都城	採用面の支援(特に営業職に関して)

製造業	ゴルフクラブ製造	都城	物価高の抑制
建設業	土木建築工事	都城	エネルギーや生活必需品等の物価高騰対策と地方の人材不足に対する対策を現状以上に検討していただきたいと思います。
サービス業	旅行業	都城	物価高騰が続くとサービス業の需要が優先的に減る恐れがあり、さらに価格転嫁も困難となる。本現状を打破する支援やアドバイスがあれば享受したいです。
製造業	寝具製造卸	都城	円安の影響等で悪化
小売業	総合小売業	都城	プレミアム商品券等、地域経済の活性化となる景気対策を希望します。
建設業	管・水道施設工事業	都城	値上げラッシュできびしいですね。設備投資もかなり減少傾向にある。先行が見通せない状況である。
建設業	住宅建築業	串間	太陽光必須となる都道府県が多い中10年20年後の太陽光パネルが劣化・故障した後の産廃が大量に出るのではと不安になります。再雇用者から技術を伝達及び熟練者を入れたい(数年で退職しそう)

小売業	食品小売業	高鍋	全ての政策について、行き詰まり感がある。地方の中小企業は雇用を維持する事が大変困難になっている。
-----	-------	----	--